

6 北海道の蚊 I.

ヤブカ属 (Aedes) Ochlerotatus 亞属の蚊の雄生殖器の記載

北海道立衛生研究所	(所長	中	村	豊)
北海道	囑託	淺	沼	靖
同		加	納	六郎
北海道立衛生研究所	技師	高	橋	弘

Notes on Culicidae of Hokkaido, I. Descriptions on the male terminalia of Subgenus *Ochlerotatus* ARRB. (*Aedes*, Culicidae).

by. KIYOSHI ASANUMA, ROKURO
KANO. HIROSI TAKAHASI.

夏が短く、またそれほど暑くもない北海道の山野を歩くとき、意外にも驚く程多数の蚊群に悩まされることがある。この蚊は6月より8月に至る間、比較的短い期間に一時に発生するもので、雪融の溜水を搖籃の地としているものが多い。従つて発生場所は人家に遠く、その数の多大なのに反して今までに幼虫、或は雄蚊について調べる機会に乏しく、果して如何なる種類によるものであるか明かではなかつた。

著者等は1949年以來、吸血昆虫の調査の一部としてこれらの蚊の生態についても注意を拂つて來たが、山野に於て大発生する蚊は主として *Aedes* 属中の *Ochlerotatus* 亞属に屬するものであることを確め得た。この *Ochlerotatus* 亞属の蚊は北半球の寒帯に多数発生するもので、南下するに従つてその種類數も個體數も少なくなつている。滿洲、シベリヤ或はフィンランド、カナダ等、何れも蚊害が報告されているが、現在舊北區には30種が發表され、この内日本には本文に掲げた5種(北海道5種、本州2種)が知られている。

蚊の種名を決定する際には雄生殖器の構造を基礎として行うのであるが、この雄蚊は吸血性がない爲採集が困難で、發生地附近を亂打法により採集するか或は幼虫を飼育して羽化せしめる外はない。著者等もこれらの方法により4種の雄蚊を得、これに山田信一郎博士の採集品も加えて5種の雄生殖器の記載を行い得たが、この内 *A. (O.) communis* DEG. は日本新記録種である。

本文を始めるに當り、これ等の材料の採集研究する機会を與えられた、北海道衛生部長西野陸夫博士、同環境衛生課長一三井四郎博士、桑原麟兒博士に厚く感謝の意を表する。また同行して御盡力を得た、長谷川恩學士 松井貞夫、清水政行兩君に對してもこの機会に謝意を表したい。

Aedes (Ochlerotatus) 亞属の概要

稍々大型種で褐色乃至黒色、腹部には一般に顯著な白斑がある。♀の觸鬚は短少、小楯板後縁は3つの角をなし、その角毎に剛毛群を裝う。氣門剛毛を缺くが氣門後剛毛は具える。前腿節は吻より長く、前第1跗節は前第2~5跗節の長さの和よりも短い。肉質板は細長又は退化する。♂生殖器の側片は長大でこれに先端葉及びよく發達した基部葉を具える。基部葉には通常1~4本の刺毛を具

えるが、篋状鱗を缺く。

♂生殖器による種の検索表

- (1) 側片基部葉には太い2刺があり、先端葉は梢不明瞭 *dorsalis* MEIG.
- 一 側片基部葉には太い1刺があるか又はこれを缺く、先端葉は極めて顯著 (2)
- (2) 小把握片は長く、且つ彎曲する (3)
- 一 小把握片は短く、且つ眞直である (4)
- (3) 先端葉には長剛毛がある。基部葉は小さいが著しく突出し眞直な1刺がある *communis* D. G.
- 一 先端葉には短毛の他稍長い平な剛毛がある。基部葉は殆ど突出せず太い刺を缺く
..... *excrucians* WALK.
- (4) 小把握片の柄部には微毛の他に先端近く短毛がある。中央體は橢圓形で先端近く微小な切込がある
..... *sticticus* MEIG
- 一 小把握片の柄部は微毛のみ装う。中央體は中央のくびれた繭形をなし先端は切込む
..... *punctor* KIRBY.

種 の 記 載

(1) トカチャブカ (新稱) *Aedes (O.) communis* (DE GEER, 1776)

STACK., 1937 : 174 ; MARSHALL, 1938 : 166.

nemorosus MARTINI, 1930 : 305

側片の長さは幅の約4倍、多数の長短剛毛及び鱗片を装う。先端葉は極めて明瞭、基部には短剛



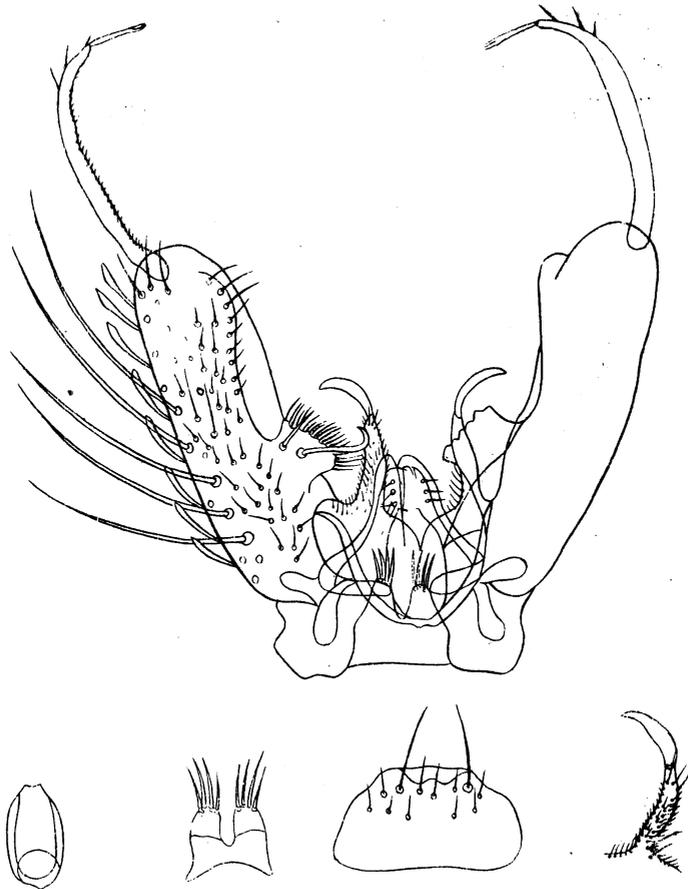
第1圖 トカチャブカ ♂生殖器
小把握片、中央體、第9腹板、第9背板

毛，先端附近には多数の長剛毛を装う。基部葉は稍小さいが著しく突出し，褐色強大真直な1刺と，多数の長剛毛を具える。把握片は比較的短く，中央は稍膨み，内側に彎曲する。把握片の内側には微毛を，外側先端近くに約2本の短毛を装う。先端の爪は可成り長く真直である。小把握片は甚だ長く，外側に彎曲する。柄部はその基部の部分に微毛がある。刃部は柄部よりやや短く，基部幅廣く，先端尖り，著明な畝がある。中央體は色薄く，中央がくびれた繭形を呈し，先端に深い切込がある。第10腹板は背縁黒褐で先端は内側に彎曲する。第9背板の兩側の突起は左右が著しく離れ，球状に盛上り，約6本の太い剛毛がある。第9腹板は略々梯形で後縁近くに約10本の剛毛を装う。(十勝，白金温泉，28，VI. 1951. 加納六郎採集)。

分布：北海道，ウスリー，シベリヤ，北部歐洲。

- (2) **セスヂャブカ** *Aedes (O.) dorsalis* (MEIGEN, 1830)
 MARTINI, 1930:280; MARSHALL, 1938:185.
caspius dorsalis STACK., 1937:141.

側片は長短の剛毛及び鱗毛を装い，長さは幅の約2.5倍。先端葉は非常に小さく稍々長い剛毛がある。基部葉は小さいが突出し，その上に剛毛と，太い2刺を具え，その1本は長く且つ透明，他の1本は太く真直である。小把握片は短く，あまり彎曲せず，柄部に微毛を装い，基部に3本先端近



第2圖 セスヂャブカ ♂ 生殖器
 中央體，第9背板，第9腹板，小把握片

くに4本の剛毛がある。刃部は柄部より稍々短い。中央體は橢圓形で先端少しく尖る。第10腹板の背縁は黒褐、先端は内側に曲る。第9背板の兩側の突起は著明に盛り、左右相接近し、縁には4本づつの剛毛を具える。第9腹板は梯形で後縁近くに約12本の長短の剛毛がある。(下湧別, 27, VIII. 1917. 山田信一郎採集)。

分布：北海道，本州，滿洲，シベリヤ，北部歐洲，北米。

(3) **アカンヤブカ** *Aedes (O.) excrucians* (WALKER, 1856)

MARTINI, 1930:289; STACK., 1937:154

側片は長短の剛毛及び鱗片を裝い、長さは幅の約3倍。先端葉は著明で、側片の略々中央附近まで達し、その上には多数の微毛、短毛及び稍々太い剛毛を具える。基部葉は平たく、殆んど突出せず、あまり長くない剛毛を多数具える。把握片は中央膨み、内側に曲り、内側には微毛を、外側先端近くには2乃至3本の短毛を有する。先端の爪は眞直で稍々長い。小把握片は長く外側に強く灣曲する。柄部は基部が微毛で覆われ、刃部は幅廣くて三角形を呈する。中央體は圓筒形で先端は細く、深い切込がある。第10背板の背縁は黒褐、先端は殆んど灣曲しない。第9背板の兩側の突起は半球狀に盛り、左右は可なり離れ、6~8本の太い剛毛を具える。第9腹板は略四角形で後縁近くに12本の剛毛がある。(旭川, 26. VI. 1951, 淺沼, 加納, 今村, 高橋採集)。

分布：北海道，ウスリー，シベリヤ，北部歐洲。



第3圖 アカンヤブカ の生殖器
小把握片，第9背板，第9腹板，中央體。

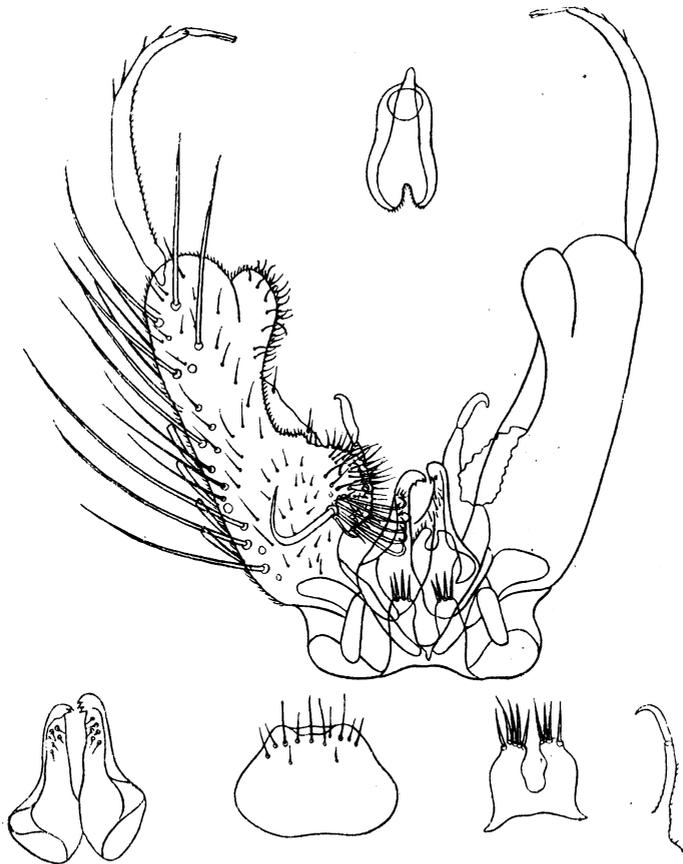
(4) チシマヤブカ *Aedes (O.) punctor* (Kirby 1837)

MARTINI, 1930:321; STACK., 1937:172.

MARSHALL, 1938:158.

側片の長さは幅の3倍以上あり、長短の剛毛と、鱗片を装う。先端葉は極めて明瞭で、その上に多数の短大な先の曲つた剛毛を具える。基部葉は大きく、先端葉の近くに達し、且つ側片と分離しない。基部葉には長大な先の曲つて透明の1刺と、多数の長剛毛とがある。把握片は細長く、内側に灣曲し、中央が少々膨み、内側には多数の微毛を装つていて 外側先端近くに約5本の短毛が1列に並ぶ。先端の爪は可成り長く且眞直である。小把握片は比較的短く、且つ殆んど灣曲しない。柄部の基部 $\frac{2}{3}$ に微毛があり、刃部は柄部より稍短い。中央體は色薄く中央が軽くくびれた繭形で先端に切込がある。第10腹板の背縁は黒褐色で、先端は内側に灣曲する。第9背板の兩側の突起は著明で左右が接近し、4~6本の短大な剛毛を具える。第9腹板は梯形で、後縁近くに約12本の剛毛を装う。(軍川~大沼學園内23. VI. 1951. 加納六郎, 採集)。

分布: 北海道, ウスリー, シベリヤ, 北部歐洲, 北米。



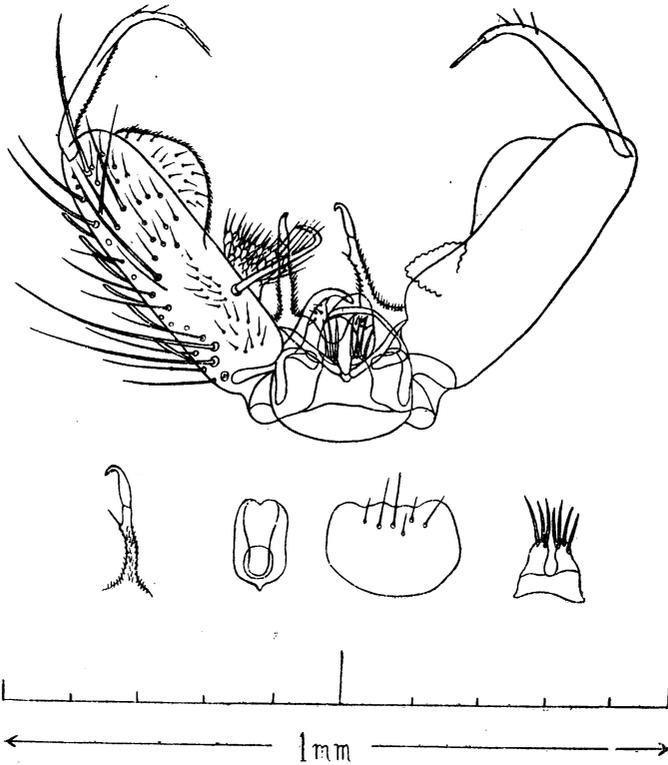
第4圖 チシマヤブカ ♂ 生殖器
中央體, 第10腹板, 第9腹板, 第9背板, 小把握片

(5) カラフトヤブカ *Aedes (O.) sticticus* (MEIGEN, 1838)

MARTINI, 1930:296; STACK., 1937:171.

MARSHALL, 1938:164.

側片は多数の長短の剛毛及び鱗片を具え、長さは幅の約3倍。先端葉は著明で、側片の中央にまで達し、多数の短毛と、無数の微毛を装う。基部葉は著しく突出し、多数の剛毛を具え、長大透明で先の曲つた1刺を有し、その周囲の剛毛は他より長い。把握片は比較的に短く、中央膨み内側に灣曲する。その内側には微毛を、外側先端近くに約3本の短毛が1列に並ぶ。先端の爪は眞直で可成り長い。小把握片は短く、且つ殆んど眞直である。柄部は微毛を覆い、先端近く1短毛がある。刃部は短い。中央體は略橢圓形で、先端は極く僅か切れ込む。第10腹板の背縁は黒褐、先端は内側に曲る。第9背板の兩側の突起は著しく盛上り、左右接近してその先端に各々5~6本の剛毛を具える。第9腹板は略々四角形で後縁近くに約6本の剛毛を装う。



第5圖 カラフトヤブカ ♂ 生殖器
小把握片, 中央體, 第9腹板, 第9背板

附：北海道産蚊科の種類

オウカ族
Megarhinini
ハマダラカ族
Anophelini

オウカ屬
Megarhinus
ハマダラカ屬
Anopheles

イエカ族
Culicini

イエカ屬
Culex

ハボシカ屬
Theobaldia
ヤブカ屬
Aedes

トワダオウカ
Megarhinus towadensis MATSUMURA
シナハマダラカ
Anopheles hyrcanus sinensis WIEDEMANN
エセシナハマダラカ
Anopheles sineroides YAMADA
ヤマトハマダラカ
Anopheles lindesayi japonicus YAMADA
ハマダラウスカ
Culex orientalis EDWARDS
スジアシイエカ
Culex vagans WIEDEMANN
アカイエカ
Culex pipiens pallens COQUILLET
コガタアカイエカ
Culex tritaeniorhynchus GILES
コガタクロウスカ
Culex hayashii YAMADA
エゾウスカ
Culex rubensis SASA et TAKAHASHI
トラフカクイカ
Culex vorax EDWARDS
ミスジハボシカ
Theobaldia kanayamensis YAMADA
ミスジシマカ
Aedes galloisi YAMADA
ヤマダシマカ
Aedes flavopictus YAMADA
シロカタヤブカ
Aedes niveus LUDLOW
トウゴウヤブカ
Aedes togoi THEOBALD
ヤマトヤブカ
Aedes japonicus THEOBALD
エセチヨウセンヤブカ
Aedes koreicoides SAS KANO et HAYASHI
セスジヤブカ
Aedes dorsalis MEIGEN
カラフトヤブカ
Aedes sticticus MEIGEN
チシマヤブカ
Aedes punctor KIRBY
トカチヤブカ
Aedes communis DE GEER
アカンヤブカ
Aedes excrucians WALKER
キンイロヤブカ
Aedes vexans nipponii THEOBALD
コガタキンイロヤブカ
Aedes imprimens WALKER
エゾヤブカ
Aedes esoensis YAMADA
ヤマダエゾヤブカ
Aedes yamadai SASA KANO et TAKAHASHI
アサヌマエゾヤブカ
Aedes asanumai SASA KANO et TAKAHASHI
ホツコクヤブカ
Aedes cinereus MEIGEN